

7月のアーティスト



みんな

ゆかり
齊藤 紫 ちゃん
たちばなこども園 5歳



ママとおばあちゃんの3人でアイスクリームを食べに行ったよ。店員さんを描いたんだ。チョコレートが入ったアイスクリームがおいしかった！

の広場

この人に聞く No.240 Spotlight

踊り続けて80年、舞踊への思いが実を結ぶ

和賀 八千代 さん



和賀八千代さん（上野町・88歳）は、長年の舞踊を通じた市民生活や地域文化への貢献が評価され、一般社団法人日本民謡協会の参与・名誉教授として民謡の発展に寄与。50年以上にわたり舞踊の指導や普及、次世代への継承に尽力してきました。

今回の受賞は「特別なことをしたつもりはない。好きなことを仲間と楽しく続けてきただけ」と謙虚な姿勢で語ります。

小学一年生の時に日本舞踊を始めた和賀さん。いろいろな習い事をしましたが、舞踊が一番楽しく、踊りをやれば好きな着物を着せてもらった当時から懐かしみます。子どもの頃から自ら振り付けを考えて踊り、披露することを繰り返して技術を研ぎました。続けていくうちに周りから声をかけられ、他校や市外に赴いて指導することが好きという気持ちで原動力になったと語ります。

その後、公民館の事業などで踊りを教える中、舞台上に立ちたいという教え子たちの思いから岩手北上やよい会を結成。本格的な踊り手の育成に向けて、県内各地に教室を設け、子どもから高齢者まで幅広い世代への指導に努めました。「指導を通して舞踊の奥深さを伝えたい」と語り、「昔から伝えられてきた文化を大切に、次の世代に伝えていってほしい」と舞踊文化の未来に思いを寄せています。

88歳となった今も、舞踊への情熱は変わりません。「仲間と共に、好きな踊りを続けていきたい」と笑顔で話す和賀さんは、これからも舞踊を通じて、日本文化の継承に力を注ぎます。

No.304

みんなの詩歌



食べれないこたつの上は食の山

高田 心遥

散る桜恥じる小川の薄化粧

吉田 羽那

まど映るあおく輝くさくらの葉

渡辺 詩織

山うつる水面に目高悠々と

楠 優

江釣子中学校三年

※掲載作品は日本現代詩文学館内に展示しています。

おらはの愛ぞる



申し込み
フォーム



菊地 藍煌 くん 鳳仁 くん
令和7年8月5日生まれ 令和5年11月29日生まれ
（鬼柳町）

これからずっと2人仲良しでいてね♡
パパ・ママの宝物だよ♡



高橋 宝都満 ちゃん
令和6年11月1日生まれ
（大堤西）

いつも笑顔と元気をくれてありがとう！
これからもたくさん笑って大きくなってね♡

【学級目標】 スマイルサイン こころをひとつに あい南

※今月は生徒が作成した学級目標を紹介します。

主任 千葉先生からのメッセージ

南中学校の仲間と共に成長していく学校生活です。南中学校前バス停の清掃美化活動や花いっぱい運動に取り組み、地域の人とも交流しています。身に付けた力が、将来の豊かな生活につながって行くことを願っています。

7月のクラス 花巻清風支援学校 北上みなみ分教室 中学部



～南中学校前バス停にて～